

お ち や

小千谷市の集落支援に対する取組状況

集落対策に関する研修会

新潟県小千谷市 にぎわい交流課交流推進係長 安達 桂祐
地域づくり支援員（真人地区） 渡邊 良平

錦鯉発祥の地



豪雪地



小千谷市の概況

- ▶ 新潟県中越地方 人口32,522人（非過疎・高齢化率36.6%）
- ▶ 東京駅から上越新幹線 浦佐・長岡駅乗換で上越線小千谷駅まで 2 時間程度
- ▶ 日本海側気候 例年 2 ～ 3 m の積雪に覆われる「**豪雪地**」
- ▶ 市内を日本一の大河「**信濃川**」が流れ、豊富な水が「**魚沼産コシヒカリ**」を育てる
- ▶ 「**錦鯉**」発祥の地 江戸時代に突然生まれた色付き鯉を品種改良して産業化



集落支援員の活用に至った経緯・内容

- ▶ 平成11～18年 人口減少が進む地区の支援を行うため、中山間地の旧役場支所3か所に、「地域振興支援職員（正職員）」を配置して地域づくり、地域支援の中心を担う。
- ▶ 平成19～29年 平成16年10月発生の新潟県中越地震により、中山間地が大きな被害を受け、県復興基金による復興支援員を配置
- ▶ 平成30年～ 集落支援員制度を活用して、引き続き市内3地区に「地域づくり支援員」を配置して現在に至る。
- ▶ ミッションは地域や時期により変わり、集落点検から見えた課題に対し、福祉、公共交通、買い物支援など、生活支援コーディネーター（SC）とも重なる役割を果たしている。
- ▶ 地域づくり支援員は、地域のサポーターであり、地元理解を得て地域づくりの支援者として活躍している。
- ▶ 市にぎわい交流課（地域振興担当部署）に籍を置き、当課に出勤、打合せを行った後、地域に出向くことにしている。担当職員とは毎日のように雑談から相談まで、情報共有ができるため、担当職員も地域に入りやすく、事前に地域事情に触れられるメリットがある。

新潟県小千谷市真人町

2025.3.5 集落支援員活動事例紹介



所 属：小千谷市にぎわい交流課
地域づくり支援員(真人地区担当)
(専任) 小千谷市職員OB 渡邊良平

お ぢ や し ま っ と ち ょ う

新潟県小千谷市真人町

(昭和の合併前は中魚沼郡真人村)

- ◆ 小千谷市の概要(R7.1末現在)
- 市制施行 昭和29年3月10日
- 人 口 32,522人
- 世 帯 数 12,989世帯
- 面 積 155.12Km²
- 新潟県の中央部に位置し、信濃川が中央を貫流、河岸段丘と中山間地に展開する田園都市
- 特産品の「おぢや縮」、「泳ぐ宝石錦鯉」の原産地 お米は美味しい魚沼産コシヒカリ



錦 鯉



お米は魚沼産コシヒカリ!!

- ・ 消費税が10%になった時に最後の商店がなくなる
- ・ 地域には個人医院が存在(先代医師 へき地医療に貢献⇒赤ひげ大賞受賞)

急速な人口減少は様々な問題が発生（地域の点検）

- 人口の減少は、国・県や市の規模より小さな地域のほうが先行
地域点検 真人地域の人口推計 (国勢調査データ利用) **を実施して見える化**
(あまりの減少にショック!! 怖いと思う人もいる反面、想定内と見栄張る男性も)
- 少子高齢化が加速 ⇒ 超少子多老化時代へ
地域に子供がいなくなる著しい人口減少!!
高齢者のみ世帯(高齢者夫婦・単身世帯・高齢者親子)の増加
- 生産年齢人口と高齢者人口が逆転 (若者流失)
令和12年以降の人口推計 生産年齢人口 ≤ 高齢者人口
- 農村地域でも農業者が減少
農業の継続、担い手の確保 (離農が加速)
農村環境の維持、地域の活性化 (高齢者社会)

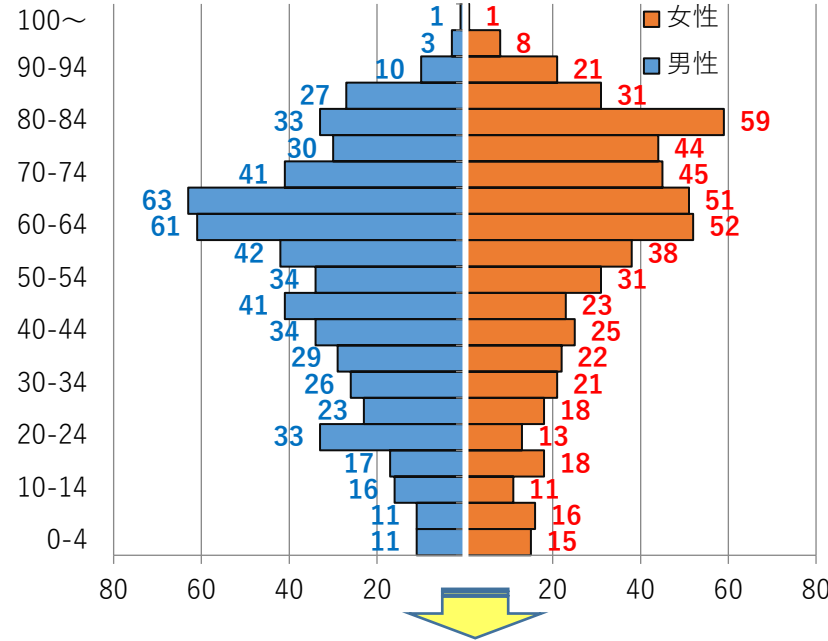
比較	世帯数	男計	女計	合計
H30.3末	389	586	563	1,149
H23.3末	423	707	699	1,406
増減	-34	-121	-136	-257

真人町の将来人口推計 ※国勢調査データ 小地域集計データ利用

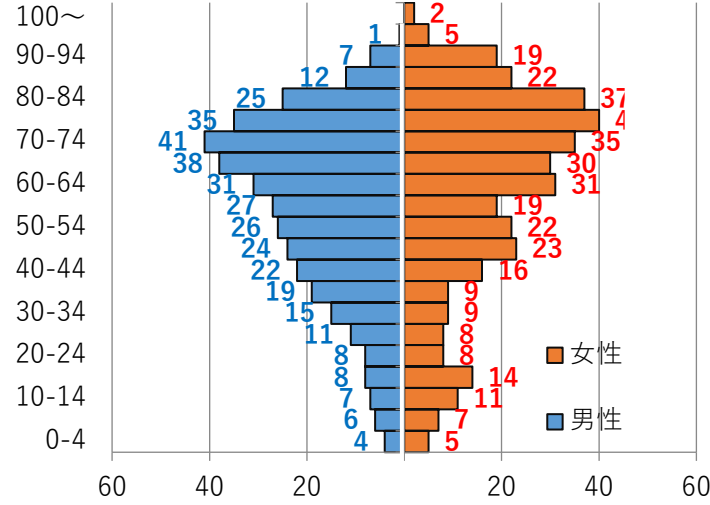
☆国勢調査データから見える30年間の人口推移

- ・真人町の将来人口を国勢調査の数値を使用して推計をしました。
- ・少子高齢化が進み人口は減少し、令和12年における総人口は738人(40%減)を推計、14歳以下の人数は39人の60%減で、人口比は5.3%となりました。また、高齢者は349人で高齢化率は47.3%(約2人に1人)の見込みとなりました。

真人町地区人口ピラミッド 30.3.31



真人町地区人口ピラミッド R12



真人町人口推計 これまでの15年 これからの15年

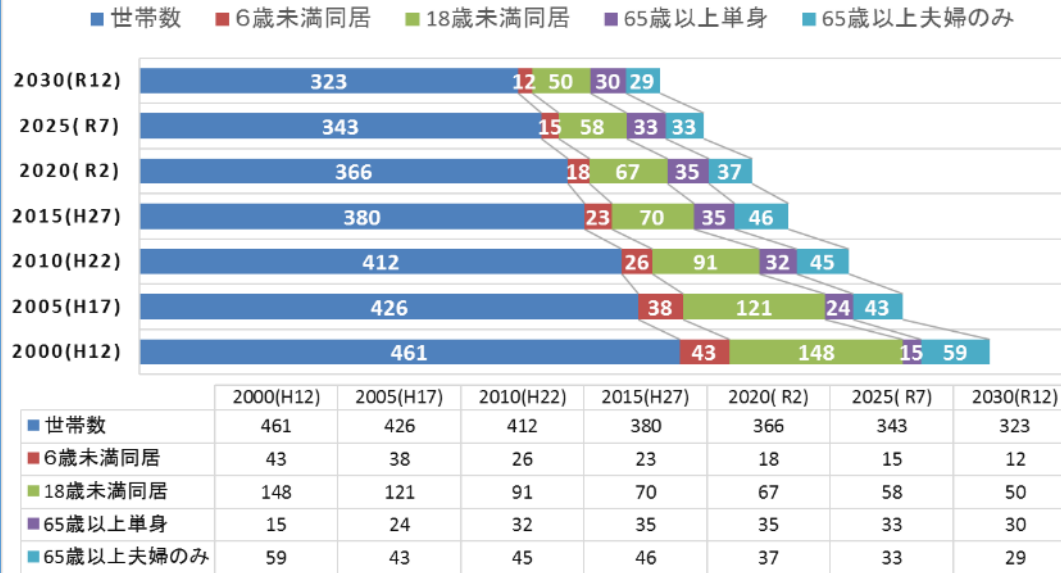
合計	2000年(A) 平成12年	2010年(B) 平成22年	2015年(C) 平成27年	2025年(D) 令和7年	2030年(F) 令和12年	C/A H12から15年後	F/A H12から30年後	F/C H27から15年後
合計	1,754	1,378	1,206	879	738	68.76%	42.05%	61.15%
0~14歳	226	114	97	57	39	42.92%	17.15%	39.95%
15~64歳(A)	987	761	639	427	350	64.74%	35.42%	54.71%
65~74歳	316	192	186	179	144	58.86%	45.69%	77.62%
75歳~	225	311	284	217	205	126.22%	91.02%	72.11%
85歳~(B)	47	96	100	89	68	212.77%	144.18%	67.76%
高齢者率	30.8%	36.5%	39.0%	45.0%	47.3%			
A+B	21.0	7.9	6.4	4.8	5.2			
65歳以上(C)	541	503	470	396	349			
A÷C	1.82	1.51	1.36	1.08	1.00			

☆人口が減少することにより様々な問題や課題が出てきます。

・多くの方は、それがどんなに大切なことでも、差し迫った状態にならない限り、必要性を自分自身の問題として突きつけられて痛切に認識できない限り、行われたいようです。

真人町の人口推計(項目別)

真人町世帯推計(1)



世帯数

総世帯数

6歳未満同居

6歳未満の子が同居する世帯数

18歳未満同居

18歳未満の子が同居する世帯数

65歳以上単身

65歳以上で単身の世帯数

65歳以上夫婦のみ

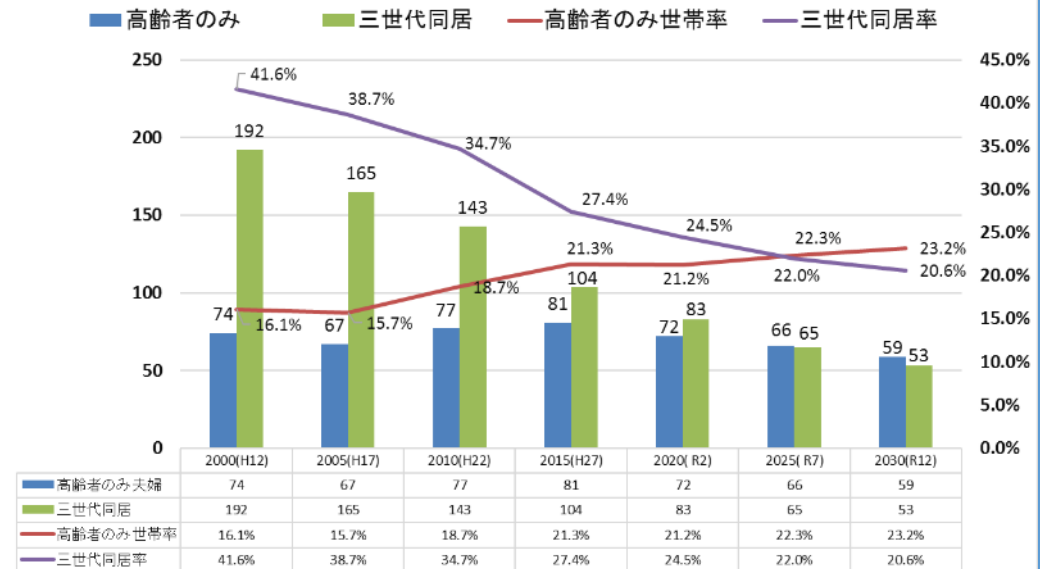
65歳以上で夫婦のみの世帯数

※65歳以上単身と65歳以上夫婦のみの世帯を合計すると高齢者のみの世帯数となる

・ 少子高齢化が進む中で、若者の流失や子供の減少などにより三世帯同居の世帯数は著しく減少し、令和12年には三世帯同居世帯と高齢者のみの世帯数は逆転することと推計されました。

・ 小さな地域は、国・県や市よりも前倒しで進んでいる人口減少に対する問題や課題について、現状を把握しながら「この地域の今後について」考える必要があります。

真人地区世帯推計(2)



集落点検① 住民アンケートで問題と課題の把握

- 中学生以上の全住民アンケートの実施
通常アンケートでは世帯主の意見が主体
中学生以上で男女別の意見集約を実施 (高回収率で意向が反映)
- アンケート結果を見える化
データを図化し、分析結果を加えて「見える化」して周知
会報誌、報告会、ワークショップの開催
- 分析結果を「我ガゴト」とし、話のタネにしてみんなで話し合って「自分たちで出来ことは自分たちで話して決め!!」てやる!



課題解決へのアクションを促す・・・(不発)

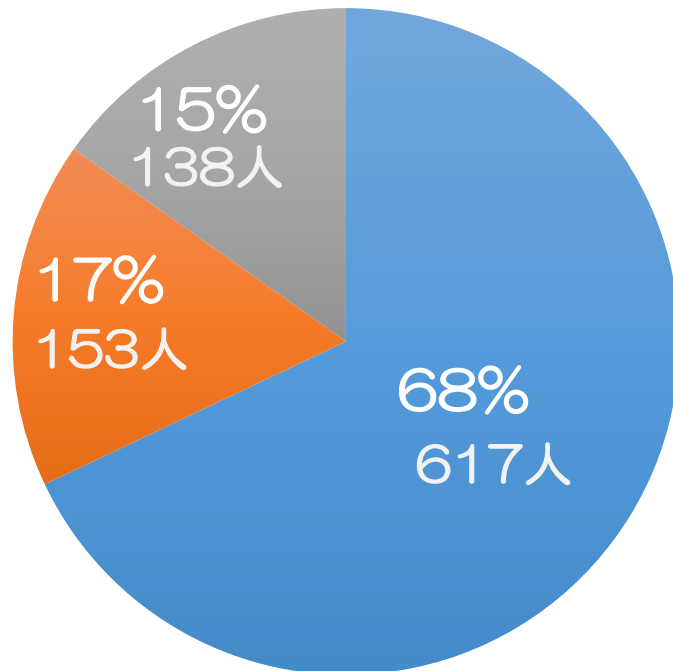
中学生以上の全住民アンケートの実施 (H30.10)

【真人町】

配布数 : 997通
回収数 : 908通
回収率 : 91.1%

回答数 地区別内訳

■ 里地地区 ■ 芋時地区 ■ 北部地区



高回収率 ⇒ 意向がしっかり反映!!

真人町地域の住民アンケートの実施について

日頃より地域の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
全国的に少子高齢化が進むなか、真人町地域では平成30年3月末に65歳以上の割合が40%を超え、市内11地区の中でも最も高い数値となっています。また、新潟県中越大地震前から32%を超える人口減少ともなっています。
このアンケートは、急速に進行する人口減少・少子高齢化によって生じてくる様々な問題点や課題を明らかにするため、真人町の中学生以上全員を対象にアンケートを実施するものです。
お忙しいところ設問数も多く大変お手数をおかけしますが、地域づくりの大切なアンケートになりますので、ぜひご協力をお願いします。

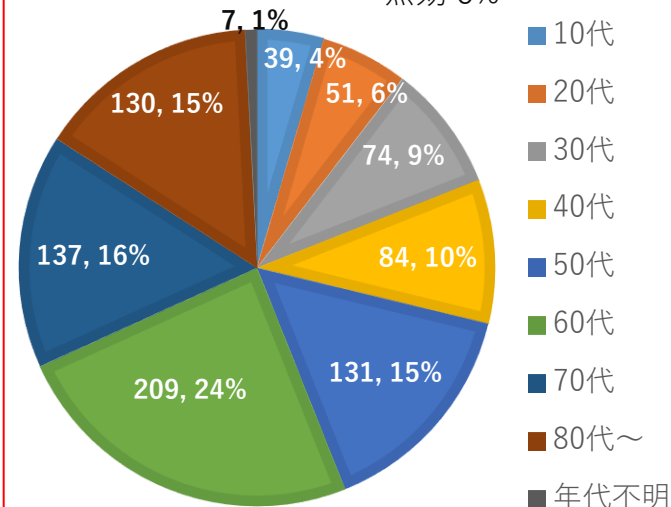
真人地区町内会長協議会
会長 瀧澤 功

【アンケートの概要・目的】

IO このアンケートは、「互いに支え合える地域づくり」、「魅力ある地域づくり」

有効回答数 862人 真人町

無効 5%



ものです。
催します。
定です。

ださい。

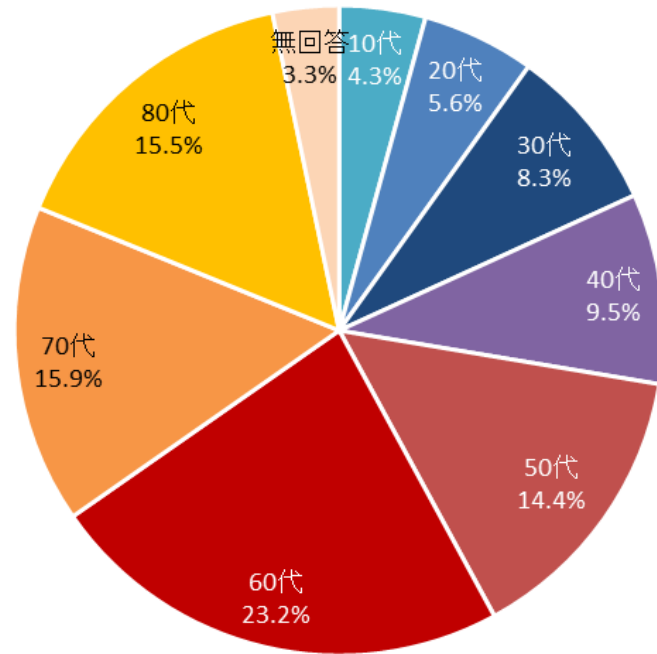
答えできる範囲で代筆
現状把握の調査にのみ

市HPQRコード



1-2 回答者の属性 年代別×性別 (真人町908人)

年代別 真人町

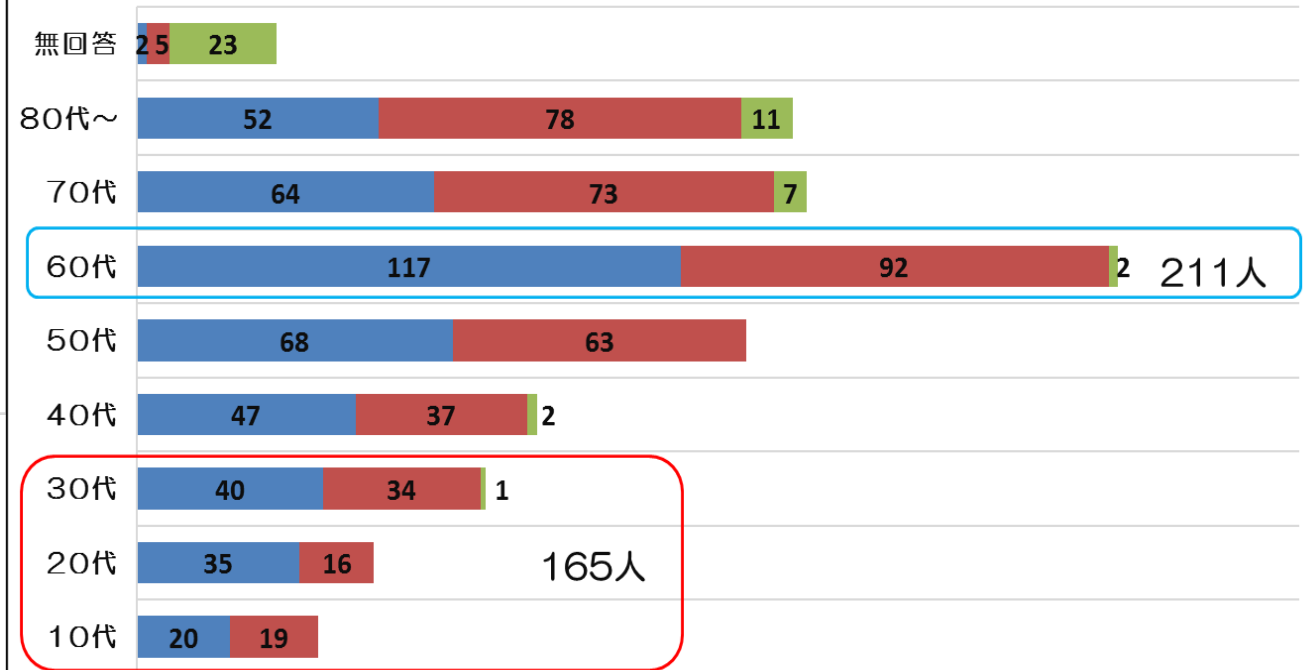


若者・中堅世代は
少数派

解答者数でみると…
10+20+30代 = 165人
60代は = 211人

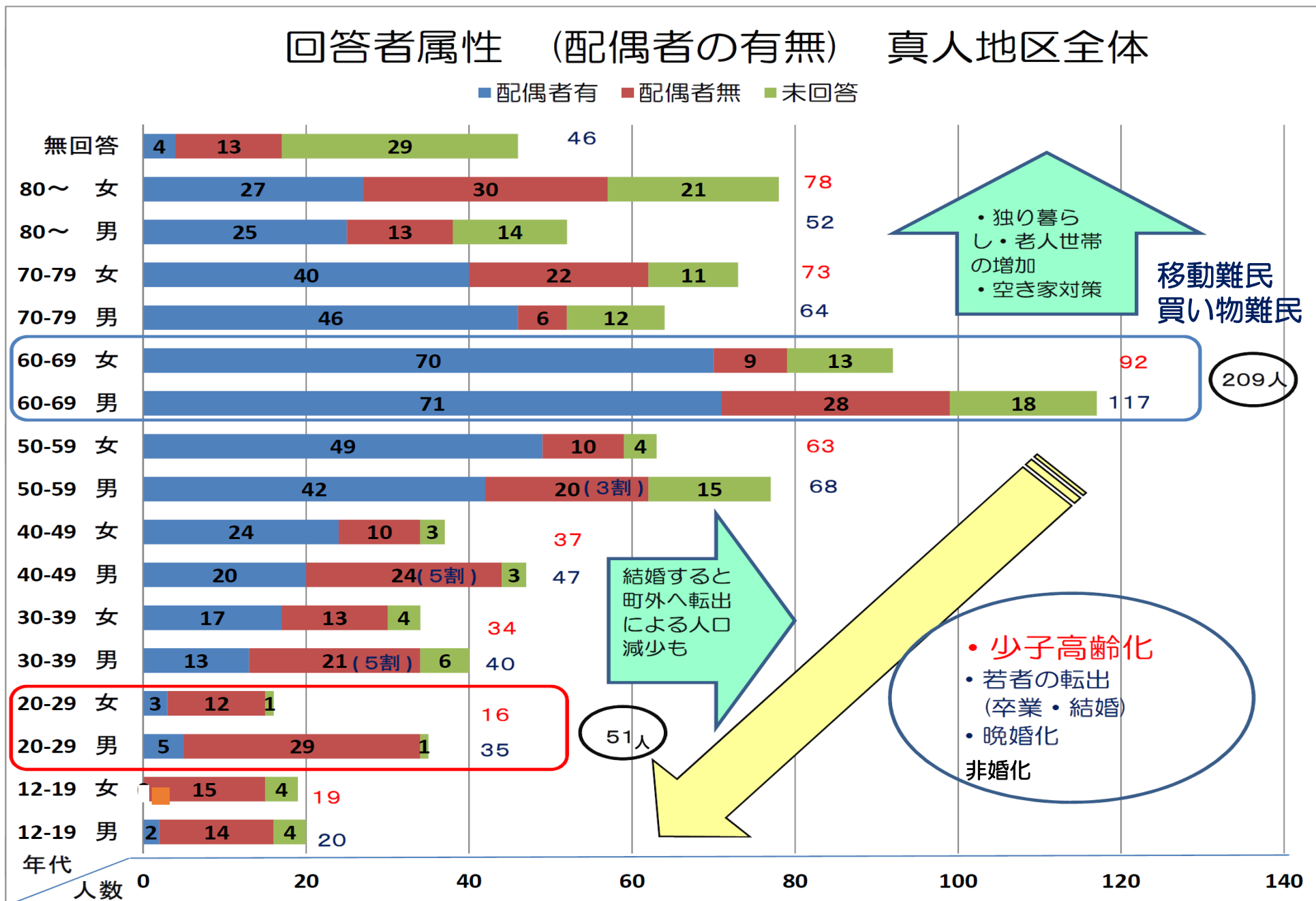
年代×性別(908人) 真人町

■ 男 ■ 女 ■ 無回答



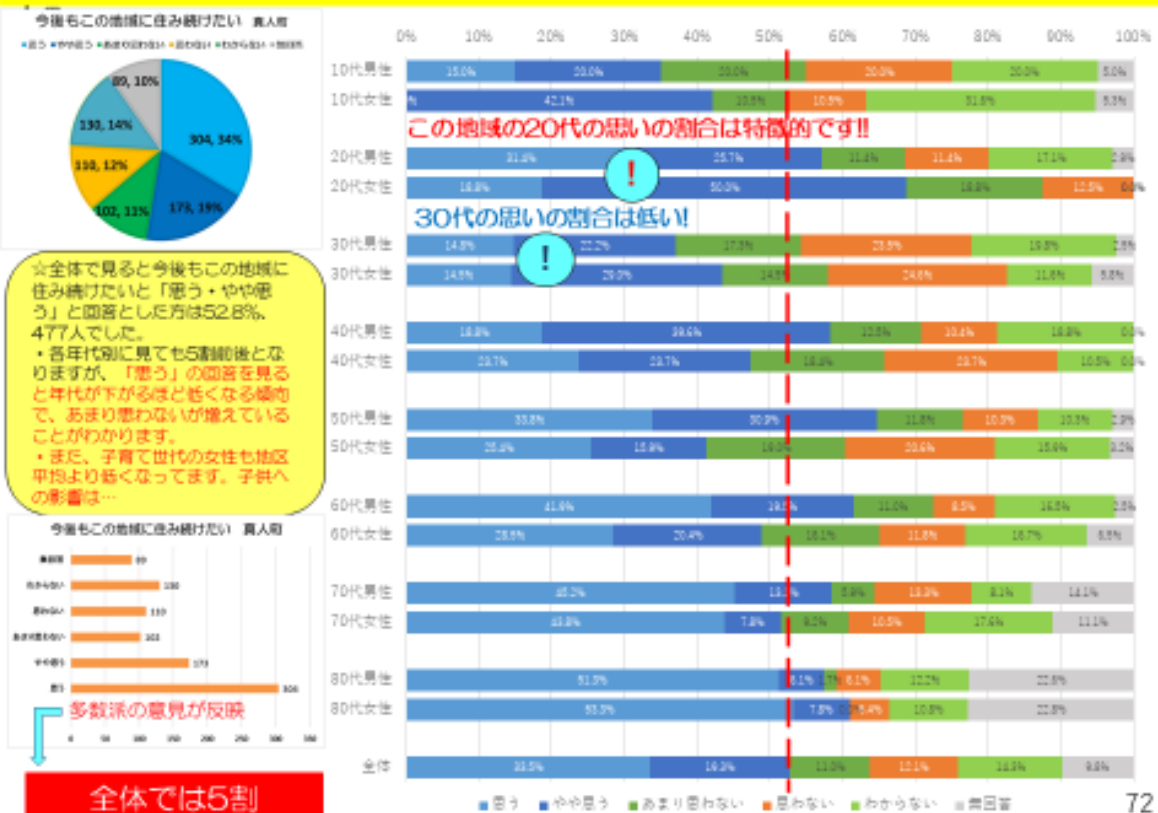
世代別に意見をまとめないと、
若い世代の声は埋没してしまう!!

1-2 年代×性別による配偶者の状況 真人町

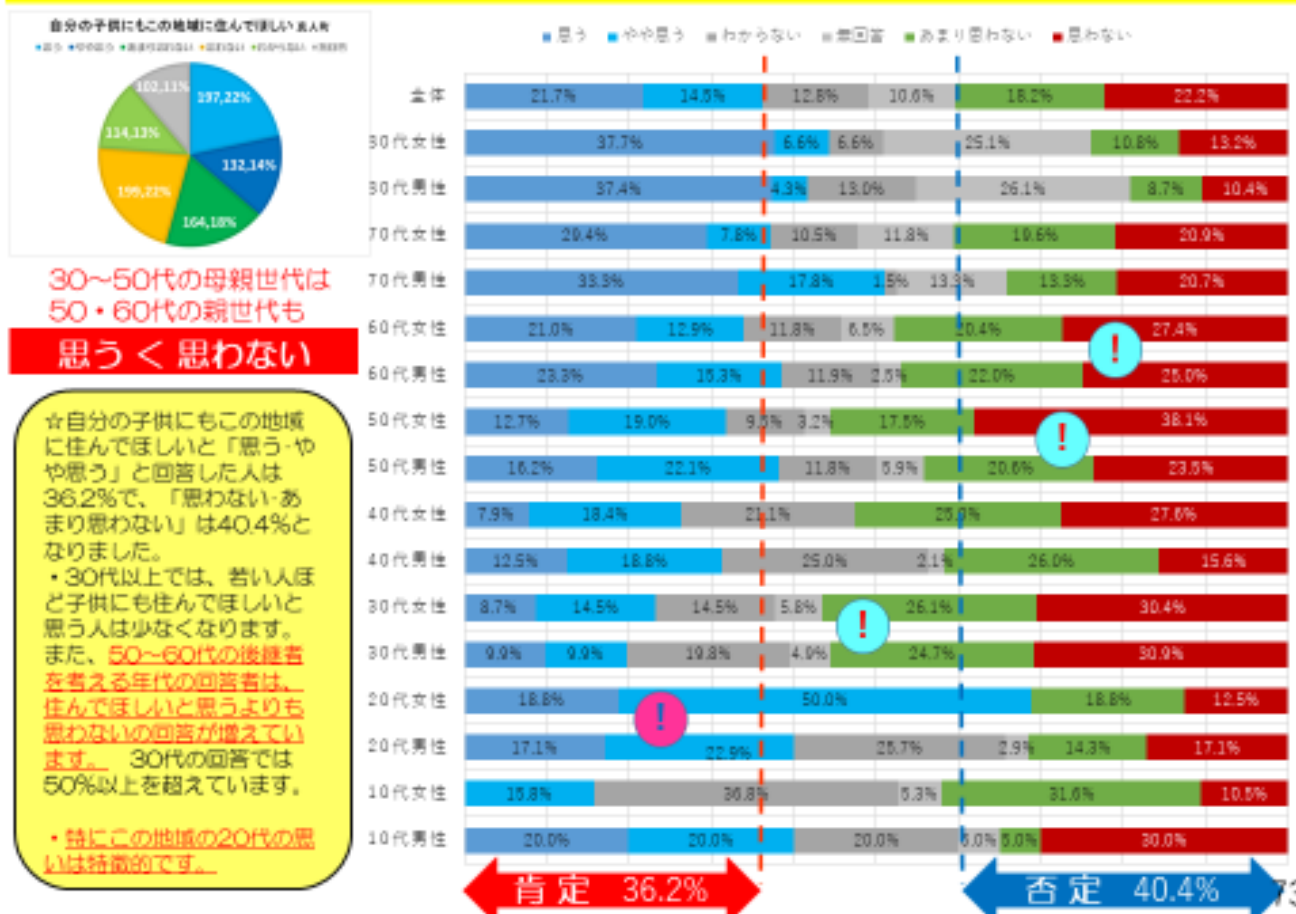


地域についてこんな設問も

12 3-22 この地域に住み続けたいと思うか? (年代別×男女別) 真人町



13 3-23 自分の子どもにも住み続けたいと思うか? (年代別×男女別) 真人町



将来人口を推計すると「少子高齢化が加速」し、急速な人口減少がさらに進みます。そして、様々な問題や課題が生じてきます。今回の「住民アンケート結果」からも、それらが見えてきました。「今が良くて、10年後にはどんな困りごとが…」など、この住民アンケートを話のタネとして対話を進めることから始めましょう。そのため、ここではアンケート結果のポイントを記載しました。

70代女性や80代以上から高齢者のみの世帯が増加。

- ▷ 支える側から支えられる側へシフトされ、家族や地域から支えてもらう高齢者が増加する。
⇒高齢者のみの世帯割合も増加し、高齢者移動支援、福祉介護などの仕組みを考えないと。
- ▷ 高齢者の単身世帯も増加し、将来の対応が必要となる。
⇒所有地・建物の維持管理は… 空き家の増加による防犯などの対策も必要。
※80代以上の女性は半数近くの方が配偶者がいない。

高齢者への福祉や支えあいの仕組みを取り組まないと

若い世代に配偶者がいない人が多い。

- ▷ 30・40代の世代に独身者が多く、結婚を機に転出による人口減少もある。
⇒地域の子供の割合が少なく、多老化の進行が著しい。婚活などに対する認識も深めていかないと。
- ▷ 3世代家族が著しく減少している。
⇒後継者の対策は。

嫁さんと後継者対策はどうする!?

80

後書き 真人地区町内会長協議会長 瀧澤 功

日頃より地域の活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、昨年度実施をしました真人町の中学生以上を対象とした「住民アンケート」につきましては、皆様からご協力を頂き高回収率で受領をさせていただき、各年代層からの意向を把握させていただきました。その後、アンケートの結果を集計し、更に分析を行うための再集計を進め、見やすく伝えるためのグラフ化をしながらまとめてきたところです。

先般、7月30日にはこの結果の「住民アンケート結果報告会」を地域づくりの専門家を招いて開催させていただきました。今後も機会を得ながらアンケート結果から見える地域の現状や問題・課題の周知を行いたいと考えています。このため、今回アンケート結果の一部を抜粋した概要版を作成しましたので、これを全戸配布いたします。ご家族皆様でご覧いただき、先ずは「我がごと」とし、この結果を話しのタネにして話し合いが進めばと考えています。

急速に進行する人口減少からの多様な問題や課題が考えられます。少子・高齢化(多老化)や地域・組織の維持などについて、「今が良ければ…」から将来を見据えて出来ることを進めていきましょう。(報告書を見るだけでは理解できないって場合は、説明に出向くことも可能ですので相談して下さい)

- ・アンケート結果・分析を話のタネとして
- ・現状把握、問題・課題を我がごととして

先ずは話し合いを進め

行動に移してみよう!



7.30アンケート結果報告会

見える化、周知ではアクションにつながらない

- 分析結果を我ガゴトに

会報誌(毎月1回)発行を活用した周知など

住民アンケート分析結果と概要版を各町内(8町内)に配布(話のタネに活用)

市のホームページに掲載、報告会、ワークショップで話し合い



会報誌



アンケート

- アクションにつながらない

地域が広範囲や住民性、人材・キーマンの不在など

真人町里地振興協議会 8集落 ・広範囲で細やかな取組ができない ・町内会長も1年交代

口は出し、立派なことも言う人いるが 行動はしない

(・成功者の足を引っ張る ・各町内の長老も変わってきてはいるが若者の意見を取り入れない)

困っていない

・自分で困っていない、自分からしなくても、との思い (我ガゴトにできていない)



ここでやらせたり、させたものは長続きしない

- さらに人口推計から見る真人町の課題(深掘り)を作成し周知

これまでの10年とこれからの10年は違うよね

高齢者福祉介護、市の財政見込み

義務的経費増・インフラ更新



真人の課題

○いつまでも行政だよりはダメ! (歳入減、自由に使える経費減 職員減、サービス減)

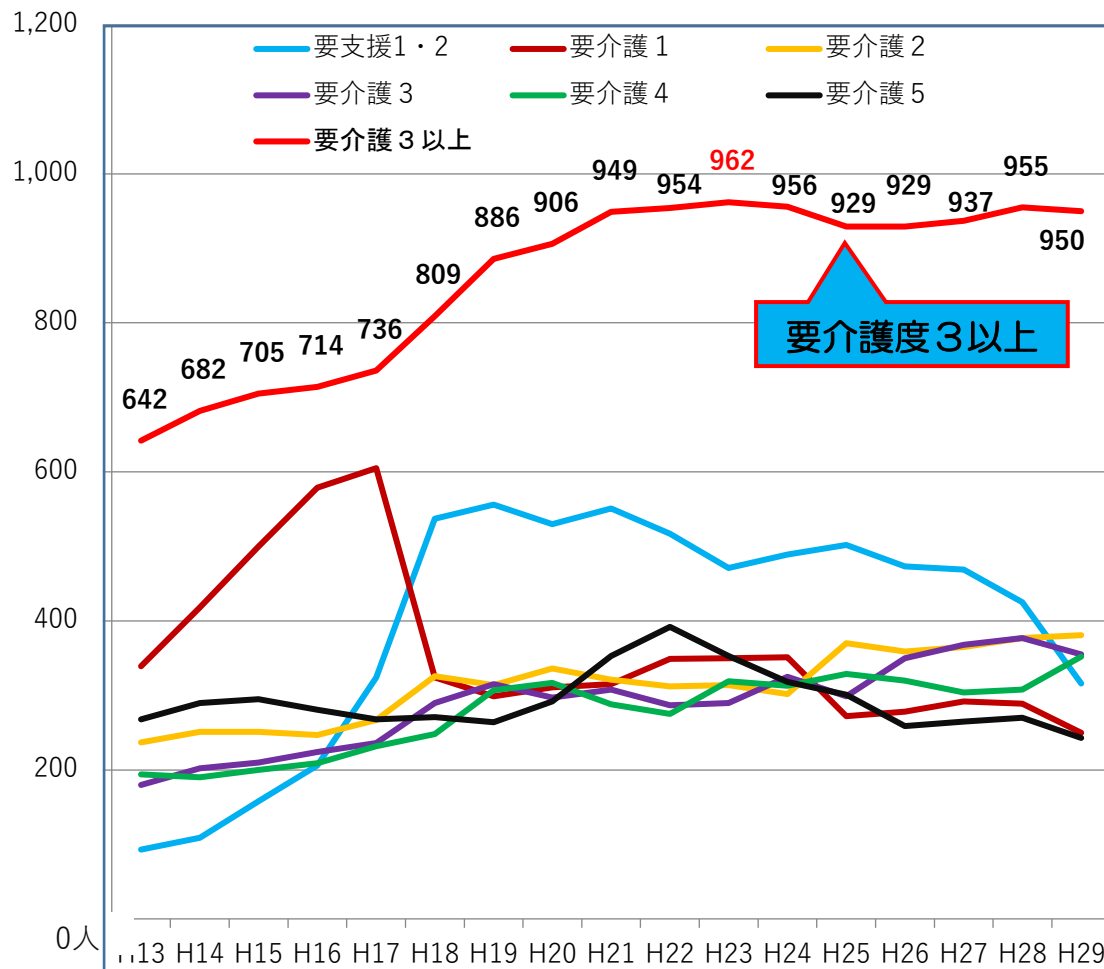
やっぱり 「自分たちで出来ることは自分たちで決めてやる!」

もっとホットにキラッとまっど!!

65歳以上高齢者の要介護(要支援)度別状況

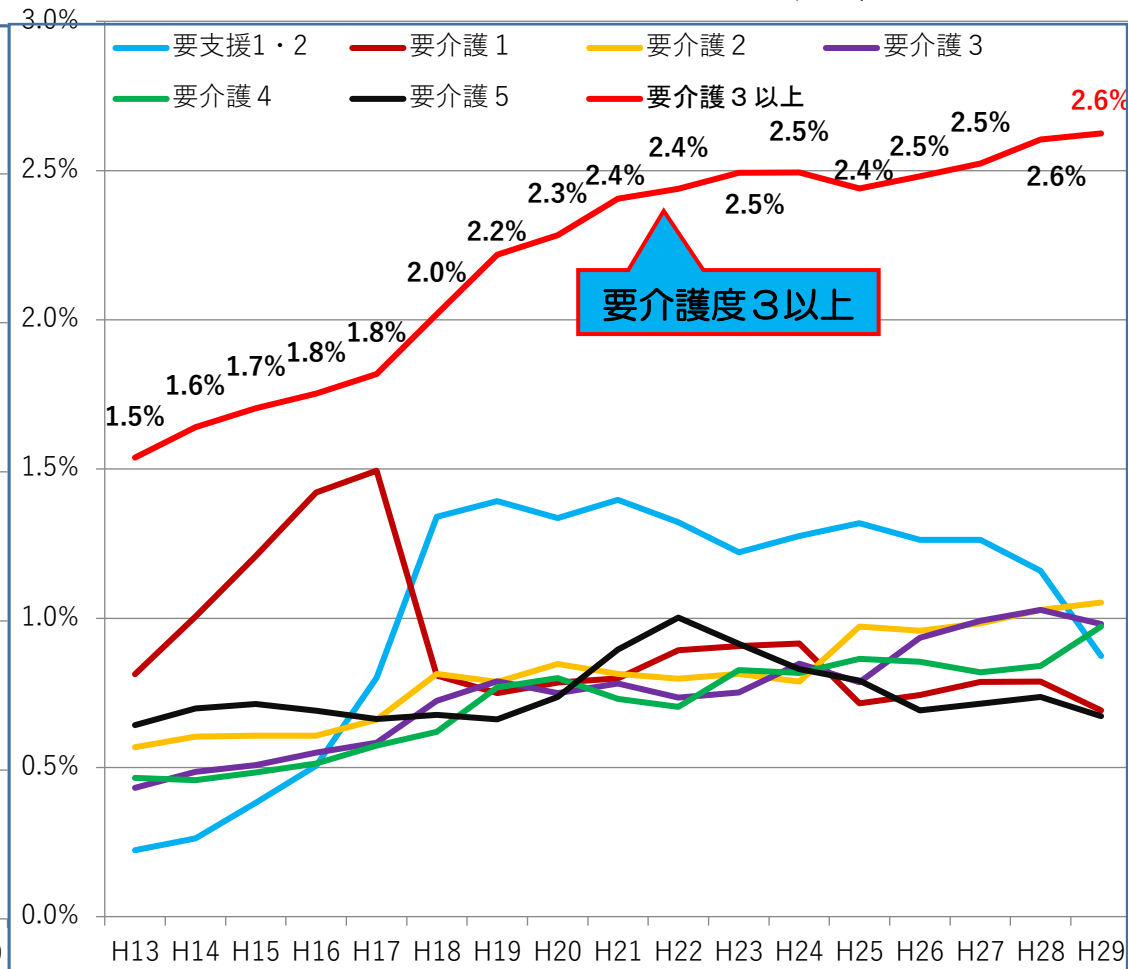
※資料 厚生労働省「保険者別要介護(要支援)認定者数 当年度末」

高齢者の要介護度保険者別人数 小千谷市



近年の要介護3以上の人数は横ばいですが

人口に占める高齢者の要介護度保険者別割合 小千谷市

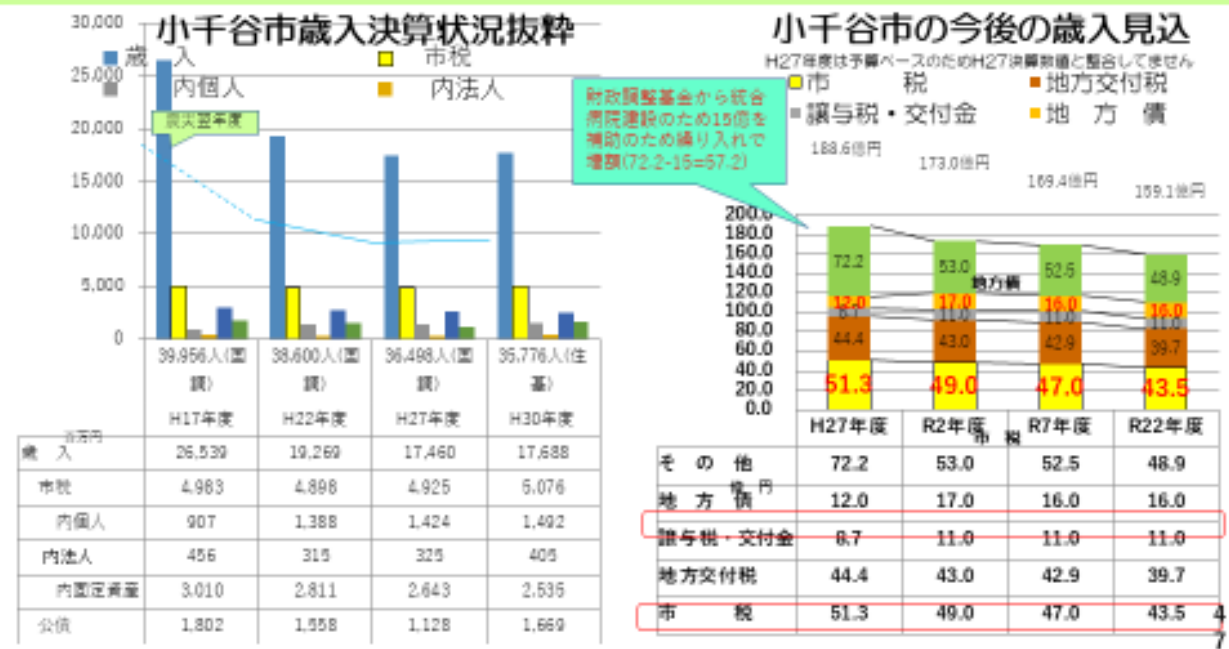


人口に対する介護度3以上の割合は右肩上がりです

健康寿命や後期高齢者にシフト 支えられる側に

小千谷市の歳入状況 (決算状況と今後の見込)

※小千谷市各年度決算状況抜粋
※小千谷市公共施設等総合管理計画抜粋



小千谷市の歳出状況 (決算状況と今後の見込)

※小千谷市各年度決算状況抜粋
※小千谷市公共施設等総合管理計画抜粋



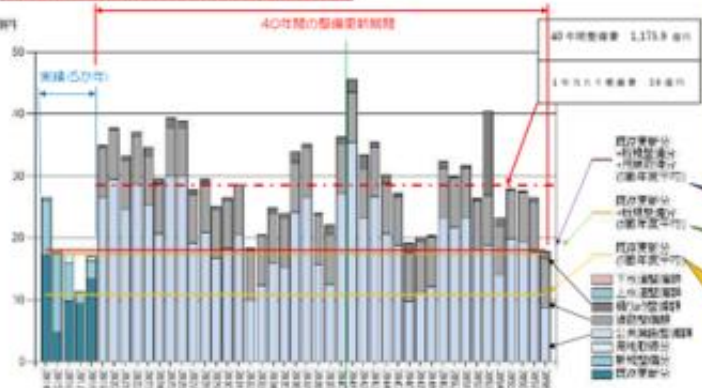
今後40年間の公共施設等の更新費用

※資料 小千谷市公共施設等総合管理計画

4 公共施設等全体の更新費用

公共施設等全体（建築物施設及びインフラ資産）の更新費用を試算した結果は、図表2-2-3のとおりです。今後40年間で必要となる更新費用の総額は1,175.9億円、年平均で29億円/年となる見込みです。

【図表2-2-3 公共施設等更新費用推計】



・この図の更新費用には企業会計の施設（ガス・水道・下水道・工業用水）は含まれていません。特に下水道会計は一般会計から繰出金が支出されていますので、これらの施設への維持管理計画にも留意が必要です。

・上水道施設では老朽化した浄水場の更新がされました。公営企業である水道事業は、使用料（水道料金）で賄うこととなっていますので、不足する資金調達により多額の負債を抱えました。このため借入金を返済する水道料金の改定（増額）となりました。

※人口減少もあるので、更新においてはコストダウンで経費の節減も必要となっています。

52

中間まとめ

（地域づくりでの抜粋）

○ 人口減少により様々な問題や課題が発生している

① 少子高齢化から超々少子高齢化に進展

- ・ 出生率の低下
- ・ 多老化時代への対応
- ・ 後継者の不足

結婚や育児への不安、仕事と育児の両立、婚活・育児相談
高齢者のみの世帯（単身含む）増 介護予防、困りごと相談・
支えあい
農業の維持継続 商店等の衰退

② 自治体の経営

- ・ 超々少子高齢化
- ・ 施設の維持・更新費用の増
- ・ 職員の減少

税収の減、義務的経費の増 事業の選択、事業効果・効率化
安全確保と耐震化・長寿命化、施設再編・コストダウン・選
択
細やかな支援に支障 正職員が減少し臨時（会計年度任用）職
員が増

③ 自助・共助・公助

- ・ 今までとこれからは違う
- ・ 既存組織の見直し
- ・ 地域運営組織の必要性

人も税収も減!! 行政任せでいい?（共助、協働）
業務（量）の見直し 役員体制の見直し（運営、経営）
地域でやれること出来ることを ⇒ やる! やらない?
地域で決めていく 何が出来て何がやれる?

まずは話し合いを進めよう!

真人里地地区の過去の取組事例【まとめる人がいれば動く人は沢山いる】

事例1 真人温泉

他事業で掘削した井戸から温泉が湧出し、テラピア(泉鯛)の養殖を行ったが頓挫した。温泉の権利を取得して地域の住民が出資(1口30万、住民が95%出資)株式会社として温泉を運営し、当初は賑わいを見せたが、近くに類似の施設ができてから経営が振るわなく倒産。住民パワーを結集した画期的な取組でしたが、地域のトラウマにも・・・



事例2 キラリ真人

地域の有志で組織した活性化団体で、食と農で地域おこしを行い米や野菜の販売。女性部が行うイベントへの出店のほか、地域の食材を使った土日の農家レストランを運営や山菜寿司の特産品などの販売。団体のトップ(中核)が辞任したことにより女性部のイベント出店などが続いたが、現在は休止状態。



事例3 クロスカントリースキー大会

地域の有志で実行委員会を組織してクロスカントリースキー大会を行い、県内の競技者からは喜ばれた。近年は暖冬消雪で開催が中止されたり、コロナ禍での自粛が続く中、トップの辞任により継続困難となって廃止となった。実行委員会は世代を超えた地域の元気な人たちの集まりで立派な組織であったが、トップの力量により他団体との調整、行政からの機械・物資の借用などで次に繋がらず後継することができなかった。



新潟県のビレッジプラン実践事業導入でアクションへ

- 県の単独事業の重点地区に小千谷市から推薦され、県から採択された
今までの取組み実績から、推薦、採択された
地域の将来プランの策定 (活動の主体となる組織作り、プランの実践を支援)
- **10年後の姿の将来プランを策定**
 - 3つの大項目(目標)を設定し、個別に重点取組を策定
 - 10年間を短期・中期・長期として具体的な取組スケジュールを作成
 - (集落点検)地域の現状関係図を作成後、バージョンアップして将来プランと整合
- **将来プランの実践**
 - 農業の維持、農村環境の維持・活性化
 - 農業部門はキーマンと連携して動き出した
 - 農村環境・活性化については出来ることを実証実験 わずかな一歩

集落点検② 地元関係図作成

ビレッジプラン実践事業

中山間地域農業の維持・発展

社会や農業を取り巻く環境が一層厳しくなってきた中、持続可能な中山間地域の営農や集落機能の維持・発展に向けた取り組みの展開

新潟県農林水産部

- ・ 地域で営農継続や集落機能の維持に意欲的な取組方や、取組をサポートできる人材を養成し、地域の将来プランの策定
- ・ 活動の主体となる組織作り、プランの実践を支援します。

1 基本理念

- ①住民の主体的参画
- ②県・市町村・関係機関のパートナーシップで支援
- ③長期的・現実的な目標を持った展開

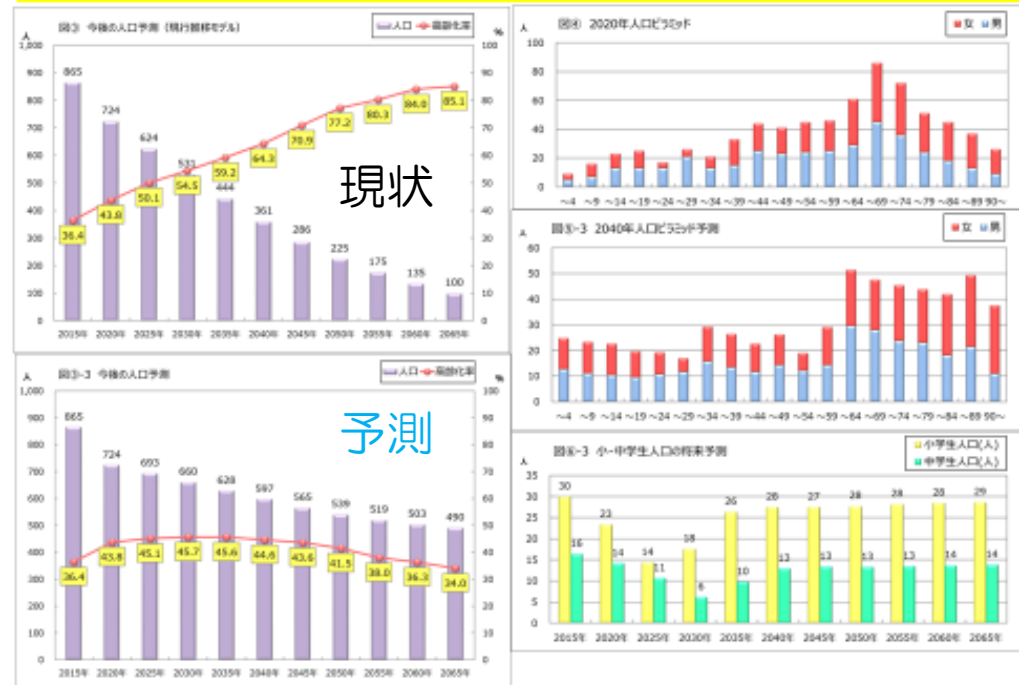
2 取組の概要

- ①地域住民の主体的な参画による継続的な展開に意欲的に取り組む方や、活動を的確にサポートできる県・市町村目関係機関の人材を養成します。
- ②各地域ごとの将来プラン(ビレッジプラン)の策定を支援します。
- ③活動の中心となる農業法人等の組織を立ち上げ段階から支援します。
- ④県・市町村・関係機関などの連携のもとビレッジプランの実践を支援します。

3 展開目標

- ①2030年を目標とし、2021年から10年間取り組みます。
- ②対象地域として県内12振興局に初年度各1地域以上、10年間で100地域を目標に取り組みます。

人口予測シミュレーション



移住・Uターンを考慮した人口推計をシミュレーションしながら作成

(一般社団法人)持続可能な地域社会総合研究所
藤山浩所長の指導・支援

ビレッジプラン策定委員会の将来プラン策定の取組み

第1回策定委員会
・勉強会
・人口推計シミュレーション

PCを使って条件設定により人口のシミュレーションをおこないました

R4.3.23 移動支援を考える会

R4.8.29 農業研修 優良事例地域の土師市清見区の堀池農業園興会に視察し、法人設立経緯、事業内容や法人の役割と担い手育成などの研修をしてきました。

R4.11.9 農業研修 地域の活性化に取り組むABOCE豊谷で「豊谷っていいところだね! 豊谷に住んでみたい。」と取り組む女性グループから活動内容等について学ぶことができました。

近真人保育園は地域の拠点施設となるか

(一般社団法人)持続可能な地域社会総合研究所藤山講師による現地指導

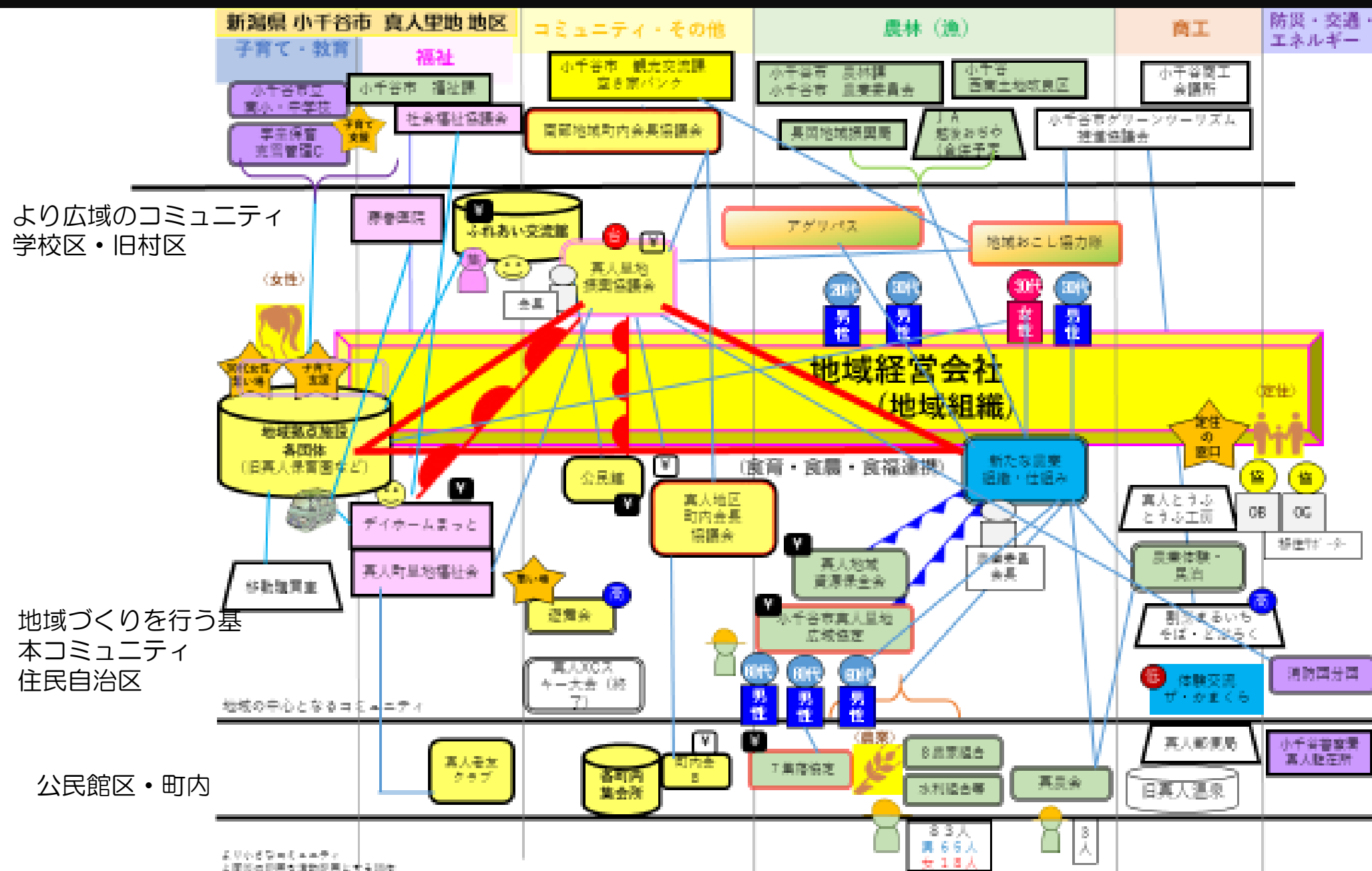
講師と事前打ち合わせ

研修場へワークショップ

地域が目指す10年後(2032年)の姿

ペーパー1
枚の将来プ
ランを策定
し、実践に
向けたアク
ションへ

集落点検② 地元関係図作成 (現状からバージョンアップ)



R5～ ビレッジプラン(真人里地地区)実践体制

真人町里地振興協議会(8町内で構成)

- ・会長と理事8名(各町内会長)
- ・顧問・前町内会長
- ・評議委員(各種団体等の代表者など)

(目的)

真人地区の社会環境の整備と住民福祉向上に努めるとともに、これが事業の効率円滑化と、各町内の連絡協調を図って地域体制を確立し、住みよいまちづくりに居することを目的とする。

ビレッジプラン(真人町里地地区)実践委員会

(専門部会として2021年策定委員会を構成) 17人

地域委員(アドバイザー含む)11人

(内JA職員・地域おこし協力隊OG各1人)

支援員： 県長岡農林振興部普及課3人(内小千谷分室2人)

： 市農林課2人 にぎわい交流課1人

事務局： 協議会(1人) にぎわい交流課1人

分科会設置

農業分科会 8人

(環境・)活性化分科会 18人

地域委員(アドバイザー含む)4人

支援員： 県長岡農林振興部普及課2人(内小千谷分室1人)

： 市農林課1人

事務局： 県小千谷分室(1人兼務) にぎわい交流課1人

※必要時に地区計画策定時の委員会等と連携

・地区計画推進委員会 9人(内1名地域委員)

・10年後の地域農業を考える会

(話し合いに参加した関係農業者65名)



地域委員(アドバイザー含む)8人

支援員： 県長岡農林振興部普及課小千谷分室1人

： 市農林課1人 にぎわい交流課1人

住民参加： 地域内住民6名(募集による)

事務局： 兼務 県小千谷分室(1人) 協議会(1人)

賑わい交流課1人

※コミュニティバス運転手登録 4人



R5農業分科会の実践取組み「もっとホットにキラット まっと!」

真人里地振興協議会 ⇒ ビレッジプラン真人里地地区実践委員会(地域10人・支援員等7人) ⇒
⇒ ビレッジプラン真人里地地区実践委員会農業分科会(地域4人・支援員3人 今後住民参加者参入)

連携

真人里地営農実践委員会

(分科会 + 地域農業者 + 市農林課・農業委員会 + 長岡農林振興部普及課・小千谷分室) 13名

真人里地(モデル)地区とした「地域計画策定」

地区計画推進委員会

協定地区代表7人、地区以外代表2人が推進委員
と真人里地営農実践委員会で構成

10年後の地域農業を考える会

- ☆ 真人里地農業担い手アンケート実施 ⇒ 分析・見える化 ⇒ 資料作成・提供
- ☆ 意向・耕作者名を航空写真で団地別に表示 ⇒ WS
- ☆ 地域ごとの担い手を決める

地域で話し 地域で考え
地域で決めていく

地域計画策定



まっと米販促用



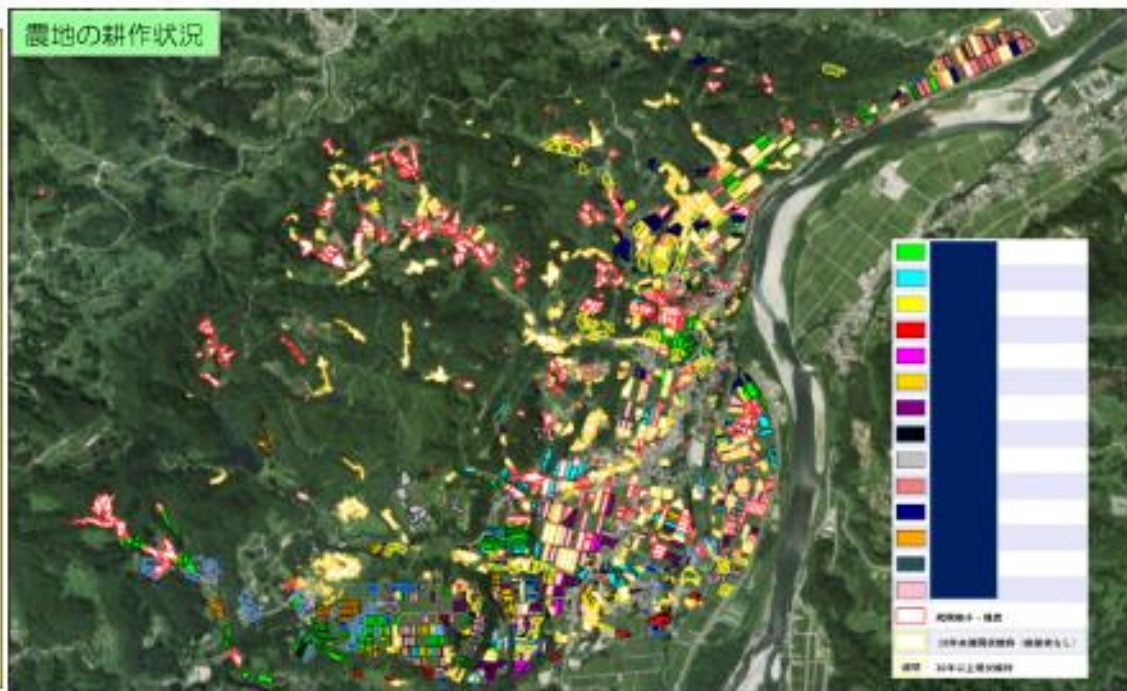
OR5年度のビレッジプラン農業分科会の実践取組み

- ・スマート農業視察 ラジコン草刈り機・ドローン(今後の共同作業に検討)
- ・真人里地米のPR促進 販促用シール・パンフレットの作成

37

農地を集積して効率化を図ろう

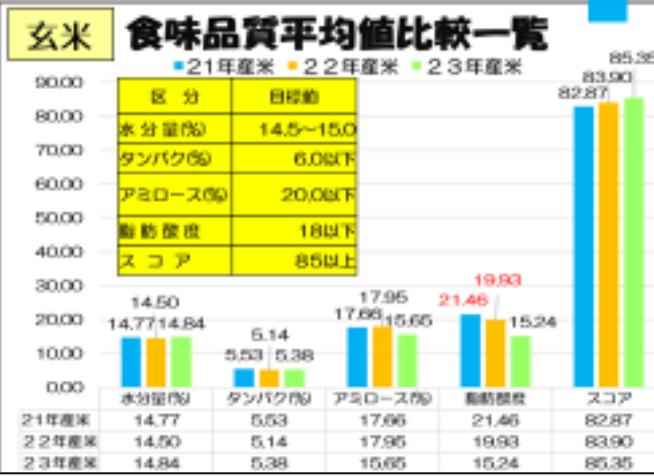
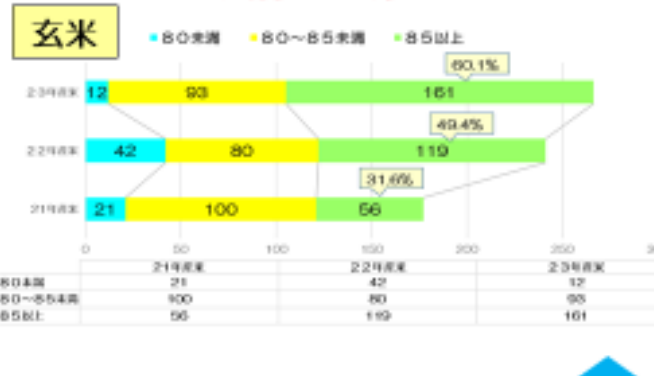
地域計画策定資料
担い手農家の農地集積



農業部門ではキーマン(農業委員会会長)と関係機関の支援で次の一步に踏み出しました。更に連携して課題の解決に努めていきます。

38 まっと米ブランド化・販促活動(美味しいを数値化)

スコア 目標値 85以上 データ JA越後おぢや



24年度まっと米食味分析結果						
精米炊飯						
依頼先	(株)サタケ 穀物分析センター(広島県広島市)					
依頼内容	精米炊飯 食味分析					
依頼者	JA越後おぢや 農人町地産物振興協議会ビレッジブランド実践委員会					
依頼年度	2024年度 新潟県産 コシヒカリ新潟8L 農人産					
依頼地	2点 農人産1:新潟県 農人産2:新潟県					
依頼種類	精 米					
依頼日	令和6年11月18日 (新潟県新潟市) 令和6年11月15日					
検体受領日	令和6年11月21日					
分析実施日	令和6年11月22日~12月2日					
分析項目	基本セット (DNA品種鑑定(定性分析) 炊飯米食味評価)					
診断結果	2点とも同様の分析結果内容					
	【DNA品種鑑定】 ・申告頂いた品種名と一致し、かつ多品種の混入も確認されませんでした。(評価 良好) 【炊飯米食味評価】 ・総合的に非常に良好な食味評価となっており、おいしい米と言えます。外観評価が非常に高く、やや柔らかく粘りの強い食感が特徴と言えます。					
診断結果比較	24年度	鑑定値	外観評価	硬さ評価	粘り評価	食味評価
	農人産①	優上	優上	やや柔らかい	強い	やや良い
	24年度	鑑定値	外観評価	硬さ評価	粘り評価	食味評価
	農人産②	優上	優上	やや柔らかい	強い	やや良い
	23年度	鑑定値	外観評価	硬さ評価	粘り評価	食味評価

※食味鑑定とは、炊飯食味の化学的・物理的・食味計、シメンサによる科学的な味の評価、硬さ・粘り計による物理的な硬さと粘りの評価を加えた、この総合評価値です。従来の食味値よりも官能評価に近い数値となります。

R5 活性化部門実践の取組み「もっと **ホット** に **キラット** まっと!」



ネットスーパー勉強会



旧保育園利活用実証実験



スマホ教室



アイスの販売



- ・ 買物ツアー・保存版買物支援冊子・困りごと把握・料理講習会・集いの場開催実施

R6 活性化分科会の取組み 「もっとホットにキラット まっと!」

移動支援

買物ツアー実証実験継続



スイーツ・郷土料理講習
会の継続実施+憩いの場

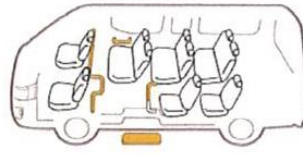


子育て世代交流会
の継続実施

コミュニティバス導入(市貸与) R6.12 配車



定員
10名



拠点施設活用実証実験 +
不用品交換システム構築
(子ども広場、フリーマー
ケット・不用品交換会)



旧真人保育園 市でR7年度から3シーズン
(冬を除く)の施設開放へ

高齢者共助支援
配食実証実験
困りごと相談

買物アシスト冊子
(保存版)
移動販売車・ネットスーパー
・宅配食・真人地域の食など

令和6年3月作成

この冊子は令和5年度の実証実験
での結果に基づいています。

真人町里地振興協議会
ビレッジプラン実践委員会作成

コミバス運営委員会

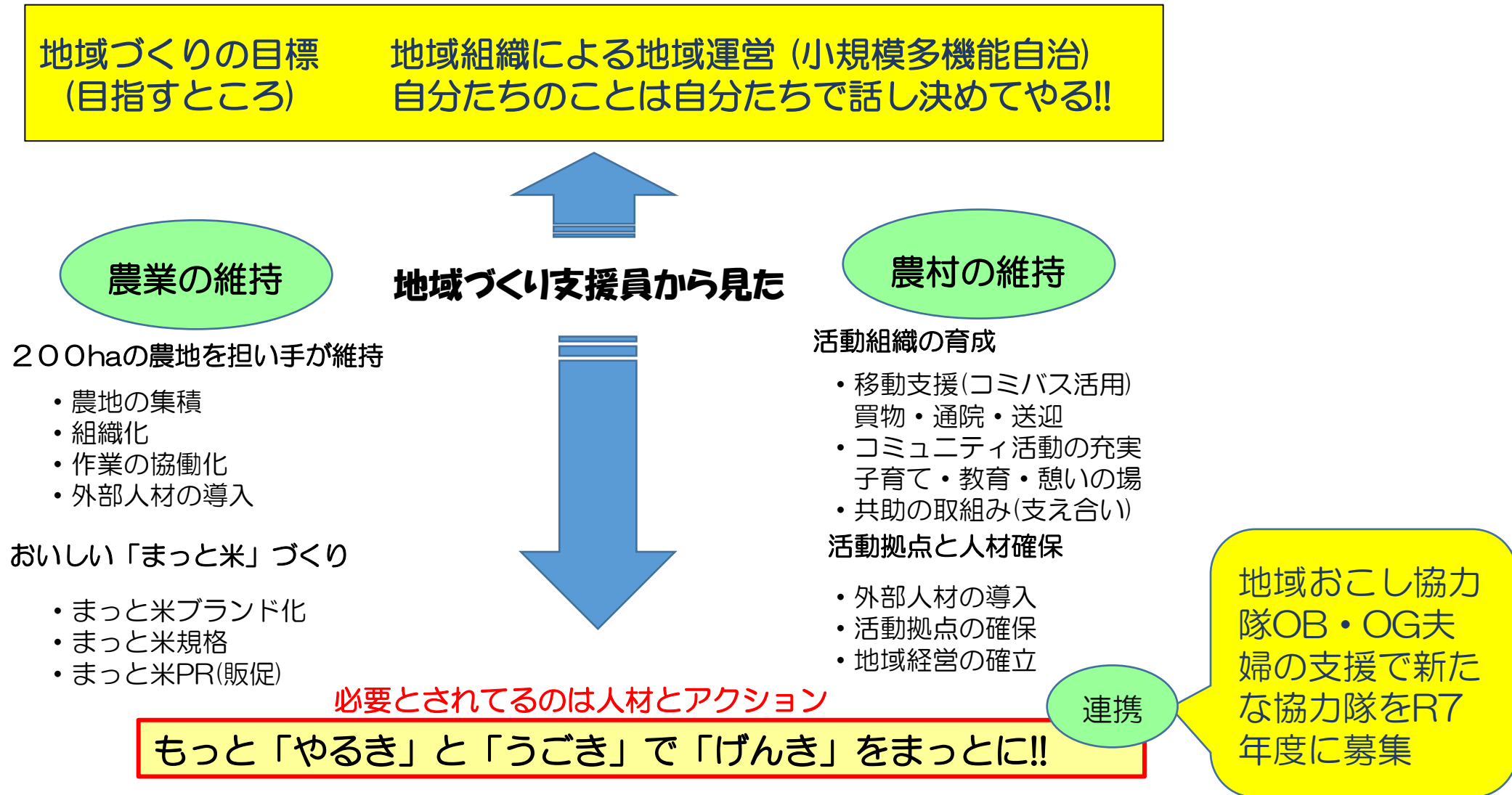
- ①運営組織の設立・規約作成
- ②運行、活用検討
 - ・地域内運行
(路線バス接続・通院など)
 - ・空き時間の活用
(デイホーム・健康教室など
の送迎、町内会・老人化会
などの行事利用)

地域資源活用
温泉自噴放流原水の活用
(ゼロ円足湯温泉)

沸かし湯で利用していた
温泉原水を期間限定(夏
場)足湯として提供し、
コミュニティの場所の創
設を検討しています。

自ら行動す
る団体など
の組織化が
必要とされ
ている

地域の今後目指す方向 「もっとホットにキラットまっと!!」



R7.3.5 集落支援員活動事例紹介

新潟県小千谷市 集落支援員

ご清聴ありがとうございました

新潟県小千谷市にぎわい交流課